



新入学児の健康診断

来年4月に小学校へ入学する子供たちの健康状態などを調べる就学時健康診断と知能テストが、10月22日から11月29日にかけ、町内の各小学校で行われました。

今年診断を受けたのは414人の子供たち。愛情をこめ、我が子の成長を見守ってきた親の喜びもひとしおでしょう。

日頃はわんぱくぶりを発揮する子供たちも、この日ばかりは慎重そのものでした。(写真は園部小で)

今月号のごあんない

- 25周年を迎えた八郷町……………2～3P
- 「5難」が見舞う飲酒運転……………4P
- 上林の吉川さん勲4等旭日小綬章を受章
- 産業文化祭……………5P
- 健康家庭219世帯に感謝状、明るい窓……………6P
- 保健婦の健康メモ、わが家の味……………7P
- 気をつけよう「石油ストーブの取り扱い」……………8P

よそみ とびだし事故のもと

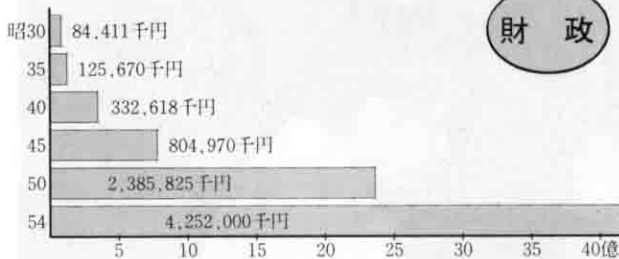
林小5年
園部 覚

町郷八たえ

さす町民一丸となつた力を支えに、産業、経済、文化とあらゆる面で発展の歩みを続けてきたのです。

ここでは、25年の歩みと現在の町の姿のあらましをあげてみました。

一般会計当初予算額の推移



昭和54年度当初予算(単位千円)

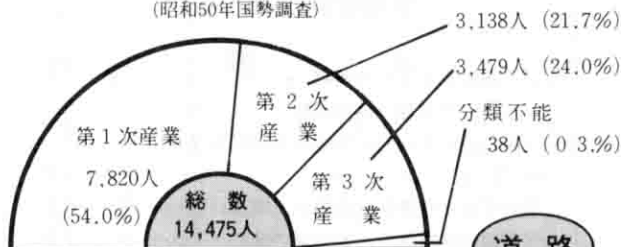
歳入		歳出	
地方交付税	1,557,000	農林水産業費	886,152
町税	619,556	教育費	796,242
町債	581,000	土木費	661,976
県支出金	442,428	総務費	550,966
国庫支出金	382,383	民生費	538,984
分(負)担金	117,233	衛生費	277,813
地方譲与税	98,000	公債費	266,313
その他	454,400	その他	273,554
計	4,252,000	計	4,252,000

産業

- ・農業粗生産額(昭52) 124億2,600万円
- ・商店販売額(昭53) 94億4,800万円
- ・工業製造品出荷額(昭53) 67億9,688万円

産業別就業者数

(昭和50年国勢調査)



道路

町道の幅員別現況

(S 53:4.1 現在)

幅員(m)	総延長(m)	改良済(m)	%	舗装済(m)	%
5.5~13	5,859	5,859	100	5,859	100
3.5~5.5	262,407	262,407	100	145,789	55.6
3.5未満	1,279,689	—	—	44,595	3.5
計	1,547,955	268,266	17.3	196,243	12.7

二十五年のあゆみ

- △昭和三十年
旧一町七カ村が合併し八郷町が誕生
- ▽11月 小桜第二小学校(現在の朝日小学校)が完成
- ▽12月 第一回町議会議員一般選挙を執行
- △昭和三十一年
▽4月 国民健康保険全町実施
- △昭和三十三年
▽3月 園部地区に町初の農事放施設が完成
- ▽4月 石岡一高八郷分校開校
- △昭和三十三年
▽3月 片野に大火発生
- △昭和三十三年
▽12月 統合小幡小学校が完成
- △昭和三十四年
▽3月 柿岡一小幡線(現在の芦穂七号線)町道改良工事完成
- ▽6月 県道石岡一高八郷分校工事完成
- △昭和三十五年
▽9月 役場庁舎が完成
- △昭和三十六年
▽1月 正月は新暦に、お盆は新暦月遅れに全町統一
- ▽4月 役場七支所を廃止、恋瀬、園部に出張所設置
- △昭和三十七年
▽4月 十三塚に町初の簡易水道が完成
- ▽5月 八郷町老人大学開講
- ▽7月 統合芦穂小学校が完成
- ▽10月 東筑波産業道路(現在の町道湯袋線)が完成
- △昭和三十八年
▽4月 県立石岡一高八郷分校が県立八郷高校となる
- △昭和三十九年
▽3月 町営住宅完成
- ▽4月 老人福祉センター完成
- ▽8月 統合南中学校が完成
- ▽9月 町議会議員選挙が大選挙区制となる
- △昭和四十年
▽1月 一本杉林道が完成
- ▽2月 七農協が合併し、八郷町農業協同組合が発足
- ▽8月 柿岡地区簡易水道給水開始
- △昭和四十一年
▽10月 小桜保育所を開設
- △昭和四十二年
▽3月 統合柿岡中学校が完成
- ▽5月 柿岡考古博物館が完成
- ▽10月 林保育所を開設
- △昭和四十三年
▽3月 統合有明中学校が完成
- ▽5月 下青柳部落を田園都市
- ▽10月 モデル集落に決定
- △昭和四十四年
▽2月 筑波、加波山などが水郷筑波国定公園となる
- ▽3月 学校給食センター完成
- ▽8月 柿岡、南岡中学校に体育館が完成
- ▽10月 柿岡中にプールが完成
- △昭和四十五年
▽2月 恋瀬、園部保育所開設
- ▽7月 有明中に体育館が完成
- ▽10月 南、有明両中学校にプールが完成
- ▽10月 小幡保育所を開設

二十五年のあゆみ

25周年を迎

昭和30年1月1日、一町七カ村が合併して「八郷町」が誕生してから、今年で満25年を迎えました。
一口に25年といっても、いろいろなことがありました。苦しい時もありましたが、理想郷八郷町、をめ

人口と世帯数の推移

年次	世帯数	人口		
		総数	男	女
30	5,676	32,616	15,883	16,733
35	5,677	30,670	14,897	15,773
40	5,656	28,741	14,011	14,730
45	5,695	27,433	13,385	14,048
50	5,933	27,483	13,464	14,019
54	6,331	28,450	14,187	14,263

人口

〔30～50年が
国勢調査、
54年は12月
1日現在〕

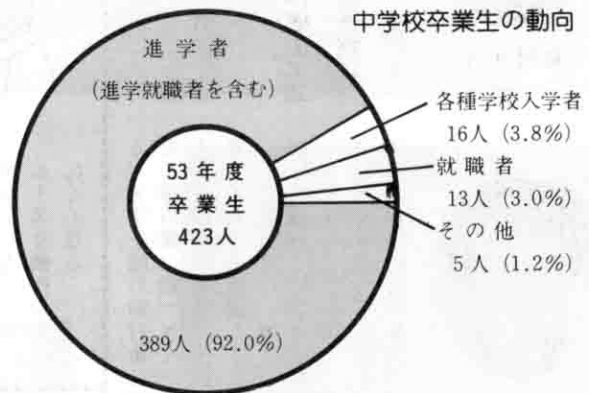
学校の概要

(S54.5.1現在)

学校別	学級数	児童生徒数			教職員数
		総数	男	女	
小学校	91	2,351	1,176	1,175	155
中学校	33	1,085	534	551	72

教育

中学校卒業生の動向



国民年金の加入状況

(S53年度)

加入者数	強制加入者数	任意加入者数
10,439人	9,844人	595人

福祉

国民健康保険の状況

(S54.3.31現在)

加世帯数	被保険者数	被保険者加入率	1人当り保険税額	1人当り療養給付額
戸 4,859	人 18,694	% 65.9	円 15,466	円 53,713

二十五年のあゆみ

二十五年のあゆみ

- △昭和四十五年△
12月 園部中に体育館が完成
八郷地区で大規模農道建設工事始まる
- △昭和四十六年△
4月 下青柳地区簡易水道が完成
5月 恋瀬川サイクリング専用道路が完成
7月 園部中にプールが完成
8月 下青柳田園都市センターが完成
△昭和四十七年△
4月 自然休養村の指定を受ける
- △昭和四十八年△
3月 西光院本堂修復成る
5月 小幡地区簡易水道給水を開始
6月 有線放送電話業務廃止
7月 自然休養村センターがオープン
8月 統合柿岡小学校が完成
△昭和四十九年△
3月 柿岡保育所を新築
7月 国民宿舎「つくばね」がオープン
大増地区簡易水道完成
- △昭和五十年△
6月 小幡地区第二次農業構造改善事業が完了
12月 東成井田園都市センターが完成
△昭和五十一年△
2月 林保育所を新築
4月 新治地方環境衛生組合塵芥焼却場が操業開始
5月 新治地方環境衛生組合老人福祉センター開所
- △昭和五十二年△
8月 東成井小新校舎が完成
3月 湯袋キャンプ場が完成
5月 上曽地区簡易水道給水を開始
6月 石岡地方斎場が完成
7月 畜産フン尿処理施設が完成
8月 新治地方広域事務組合消防業務を開始
9月 大増小にプールが完成
△昭和五十三年△
3月 総合運動公園建設工事に着手
- △昭和五十四年△
3月 町道芦穂七号線の拡幅改良工事が完了
7月 吉生小にプールが完成
瓦会小新校舎が完成

“五難”が見舞う飲酒運転

—酒酔いドライバの運転状態—

酒酔い運転はもちろん、酒気帯び運転も道路交通法で禁じられていることは、ドライバーのみなさんなら百も承知のこと。

“わかつちやいるけど”

毎年全国で一万人以上の人が酒酔い・酒気帯び運転で交通事故を起こしています。

飲酒運転がこわいのは、アルコールが脳に作用し、平常心を失わせ、次のような御難ならぬ“五難”に見舞われるからです。

十二月から一月は、忘年会、新年会と酒を飲む機会が多くなる時期ですが、「飲んだら乗る

な、乗るなら飲むな」をお忘れなように。

1 上手に運転していると錯覚する

気持ちが大きくなり、無理な追い越しや割り込みなどを平気でするようになる

2 注意力が散漫になる

周囲の変化への注意力が鈍くなる。そのため前の車ばかりに気をとられるようになり、

わきから出てくる自動車や歩行者を見落とすことが多くなる

3 居眠り運転をしやす

アルコールには睡眠作用があるため、居眠り運転をしやすくなる

4 反応が遅くなる

前方の危険に対してブレーキを踏むのに時間がかかり、すぐは止まれなくなるなど、とっさの判断が鈍り動作が遅れがちになる

5 運転動作がぎこちなくなる

小脳のはたらきが低下するため、ハンドル操作、ギアチェンジなど、スムーズな動作がしにくくなる



県統計大会で

島田さんら三名が受彰

去る十一月十六日に、県民文化センターにおいて開催された第二十一回茨城県統計大会の席上、長年にわたって統計調査員として従事し、著しい功績をあげた方々の表彰が行われ、町からは三名の受彰者がありました。また、先に行われた工業統計調査における功績が認められた町が、通商産業大臣表彰を受けました。

受彰されたのは次の方々です。

県知事表彰

○島田利夫さん(大字半田、五十三歳)

県統計協会総裁表彰

○富田恒司さん(大字柿岡、五十七歳)

○寺田光さん(大字小幡、七十二歳)

通商産業大臣表彰

○八郷町

上林の吉川さん

勲四等旭日小綬章を受章



秋の叙勲で、長年にわたって教育に身をささげてこられた上林の吉川清(70)さんが、教育功労者として、勲四等旭日小綬章の榮譽を受けました。

吉川さんは、昭和七年四月に現在の県立太田第一高等学校の教員として教育の道に入られてから、昭和四十五年三月に県立石岡第一高等学校長として退職されるまでの三十八年間にわた

り、教育一筋に歩んでこられた方です。また、昭和四十六年十月から四年間にわたって茨城県教育委員会委員を勤められ、委員長も歴任するなど、教育行政

発展にも貢献されています。なお、吉川さんに「長い教員歴の中で一番の思い出は」というと、「自分の教え子が立派に

成長していく姿を見守ることができたことが、教員として一番幸せであった」と、感慨深く話しておられました。

駒村さんと藤田さんが郷土工芸技術伝承者・後継者ほう賞に

線香づくりにとりくまれてい



駒村さん



藤田さん

る、大字小幡の駒村勇(57)さんと藤田操(30)さんが、県郷土工芸技術伝承者・後継者ほう賞をそれぞれ受賞しました。

このほう賞は、郷土工芸品の制作に携わる技術者や後継者をほう賞することにより、その社会的評価を高めるとともに技術技法の永続的継承を図り、郷土

工芸産業の振興発展に役立てようというものです。

技術伝承者としてほう賞された駒村さんの線香づくり歴は長く、昭和十年に家業であった線香づくりにとりくんでおり、自家に伝わる製法技術を習得した現在も、良質の線香づくりに励んでおられます。

また、技術後継者としてほう賞された藤田さんは、昭和四十八年に大学を卒業すると家業の線香づくりに従事し、良質の線香づくりのため、製法技術の習得に努めておられます。



△畜産共進会

▽カラオケのど自慢大会



▷盆栽展、農林産物品評会



▽囲碁会



▷びっくり市



産業文化祭

「産業文化祭」が、12月17日から19日までの3日間にわたり、八郷公民館を主会場に開催されました。

町の産業振興と文化の向上を図ろうと、畜産共進会、農林産物品評会及び即売会、写真展、書道展、菊花展など、町をあげて多彩な催しを行うこの文化祭も、今回で9回目になります。

今回は、18日の日曜日が雨となるあいにくの天気でしたが、主会場の八郷公民館には多勢の見物者が訪れました。

今月号では、多彩な催しの中から一部をひろい、写真で紹介しましょう。



戦没者慰霊祭が、十一月一日の午前十時から、約六百名の遺族と多数の来賓を迎え、一千四百四柱の英霊を祭る高友山の

おごそかに慰霊祭

殉国の碑前で、おごそかに行われました。
参列した遺族の方々は、導師の読経や町長の慰霊のことば、来賓の弔辞などがあげられるたび、ありし日の英霊の姿を思いだすように頭をたれていました。



健康家庭 219 世帯に感謝状

健康優良家庭感謝状贈呈式が、去る11月21日に八郷公民館で行われ、219 世帯の方々に、記念品を添えて感謝状が贈られました。

感謝状を受けたのは、この一年間家族全員が健康で、国民健康保険証を使わず、しかも保険税を完納されている世帯の方たちです。

七五三合同祝いを実施

七五三合同祝いが、今年も11月15日に、各地区の公民館等を会場に行われました。

ことしお祝いを受けたのは、各地区合わせて 414 名の子供たち。全員元気に成長してほしいものです。



公開研究会開かれる

新治郡子供会育成連合会公開研究会が、十一月二十三日の午前十時から、八郷公民館を会場に開催されました。
開会式の後公開研究会が行われ、片野子供会育成会が、同会の活動の一つとして郷土芸能保存のため子供たちに指導している「片野排禍ばやし」をひろうし（写真）、その成果を発表しました。
午後からは研究討議

に入り、子供会育成会の会費徴収の問題等を含む運営資金づ

くりの問題点や方法など、主に運営に関する討議が行われ、各育成会が自分の会の抱える問題点やその解決策を発表しながらの、熱心な討議となりました。

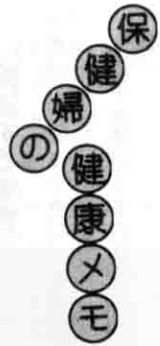


◎ありがとう

○八郷ライオンズクラブから、寝たきりの方の介護など到大変便利な特殊寝台三台の寄贈があり、町ではさっそく一台を寝たきり老人に貸出しました（写真）。なお、寝台を借用したい方は福祉課へお問い合わせてください。



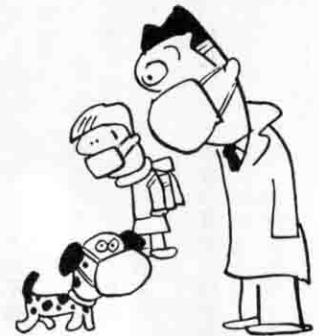
○町へ大型消火器三本
柿岡 吉田 広司



かぜの予防

師走に入り、めっきり冬らしくなってきました。農閑期ではありますが、来年に備えてお忙しい毎日を送っておられることと思います。

また、朝晩の冷え込みも厳しく、かぜにかかりやすい季節と



になりました。早速学校では、インフルエンザの予防接種を行いました。かぜは万病のもと。かからないことが大切です。

＜予 防＞

- ①塩水などを使って、何回もガラガラがいをする。
- ②栄養はバランスよくとる。

柿岡 桜井 ひさ
しめじの酢づけ
保存食にもなる、しめじの酢づけはいかがでしょうか。

＜作り方＞
(1)しめじをきれいに洗い、たっぷりの湯でゆでて、ざるに上げておきます。(2)さめたらビンに入れ、



しめじがかぶるくらい酢を入れてつけ込むと、でき上がりです。



十分にもつ保存食にもなり、便利です。
また、なめこ、すどうし、なべたけなどでもおいしく頂きます。

すぐでも食べられますが、食べる時はしめじだけを皿に盛り、大根おろしをのせ、味の素少々としょう油で頂きます。

ビンのふたをきつちにしておきますと、冷蔵庫に入れなくとも二〜三カ月は

（消化吸収がよいもの。また、発熱時には水分を十分与えることを忘れずに！）

- ③休息、睡眠を十分にとり、疲れを次の日まで残さない。
- ④軽い運動をする。
- ⑤入浴後は湯ざめをしない。
- ⑥汗をかいたらすぐふきとり、まめに下着を取り替える。
- ⑦乳幼児、老人は、朝夕まめに衣類の調節をする。
- ⑧地区で予防接種があるときは受けるようにする。

＜治療と手当て＞

- ①医師の診察を受ける。
- ②暖かくして冷えないようにする。
- ③できるだけ安静にする。
- ④熱があった場合は、さがつても二日〜三日は休んで安静をとる。

このような注意をすることが大切です。要は予防すること、すなわち、かぜを寄せ付けないよう、常日ごろから心がけることが一番です。
もうすぐお正月、健康に留意して、よいお年をお迎えください。

年末の大掃除

新しい年を迎えるにあたって、年末の大掃除は念入りにしたいものです。何かとあわただしい日が続きますので、障子の張りかえをする日とか窓をふく日など、前もってスケジュールを決めて、計画的に進めるとよいでしょう。

お正月はお客様の多いとき。テーブルなどの汚れもきれいにしておきたいものです。畳は水ぶきするとかえって汚れを取りにくくなるばかりか、いたみがはげしくなり、畳本来のつやをなくしてしまします。汚れが目立つときは、よく晴れた日に、ぞうきんを

固くしぼって洗剤でふき、そのあと空ぶきして湿気を取ります。できれば畳をあげ、裏側のほこりも取り除きたいものです。

玄関の引き戸やとびらはお湯でふくときれいになります。雨戸も相当汚れているものです。捨ててもよいシャツなどで砂ぼこりをふき取ってください。

カーテンはブラシがけしてほこりを払い、洗えるものは洗たくします。カーペットも日に干して、ほこりをたたき出しましょう。室内の壁、天井のすみ、たな、窓のサンなど、日ごろ行き届かない細かいところもきれいにしたいものです。

また、家の内外の清掃をかねて、物置きも一度整理するよう心がけましょう。

カーテンの選び方

冬支度やお正月準備のためにカーテンの新調、あるいは買い替えを考えている家庭も多いことでしょう。壁や天井はそのままで、カーテンを替えることで気分が一新するものです。

カーテン売り場では、とかく色・柄が目移りしがちですが、まず素材の特徴を頭に入れておくことが大切です。①ドレープ、②プリント、③レール

ス、④ケースメントなどがありますが、部屋の種類や目的に合わせて素材の見当をつけましょう。

見当がついたら、次は色・柄です。好みで選びがちですが、部屋全体の調和を考えましょう。日本の住宅の多くは木を使っていしますので、同系色のベージュや茶系、オレンジ系などを選び、濃淡や明暗の差で変化をつけるようにしますと、落ち着いた感じになります。こうした自然色は心を安らげる効用がありますので、寝室や居間に向くようです。

